

# 臨床検体使用に関するお知らせ

【研究課題名】ドパミントランスポーターSPECTの線条体集積の画像所見と加齢変化からみた病態についての研究

## 【研究の背景および目的】

ドパミントランスポーター機能が、健常例では加齢によって生理的な低下を示すことが知られています。しかしながら、パーキンソン症候群例では加齢による影響が判っていないために、ドパミン前受容体機能の評価について高齢者でも正確な評価されているか確認し、正確な評価方法を知る必要があります。

そこで、東邦大学医療センター大森病院放射線科では、ドパミントランスポーター画像における加齢性変化が及ぼす影響を検討し、ドパミン前受容体機能の異常を正確に評価することによってパーキンソン症候群に対する病態評価の精度向上することを目的として本研究を計画しました。この研究で得られる成果は、ドパミン前受容体機能を正確に評価して、病態や今後の治療計画や今後の経過を正確に把握することにつながります。

なお、本研究の研究責任者 水村 直は日本イーライリィ株式会社より受託研究契約を結んでおり、同社と利益相反が御座います。しかし、本研究では、日本イーライリィ株式会社の診断・治療薬と関連した疾患を対象とした研究ではありません。また、利益相反についても講座責任者による監査を実施いたします。

## 【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。2014年～2018年までに東邦大学医療センター大森病院放射線科において、ドパミンのランスポーターSPECT 検査を受けた症例を対象とします。検査で得られた画像を用いてこれを測定し、診療録(カルテ)から抽出した検査成績とともに解析することにより、画像結果に影響を与える因子を調査します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報や病理解剖結果を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

## 【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院

放射線

科

職位・氏名 准教授(病院) 水 村 直

電話 03-3762-4151 内線 3426